

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立城西中学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校生徒の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

## ■ 調査期日

令和6年4月18日(木)

## ■ 調査の対象学年

中学校3年生生徒

## ■ 調査の内容

### (1) 教科に関する調査(国語、数学)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。
- 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

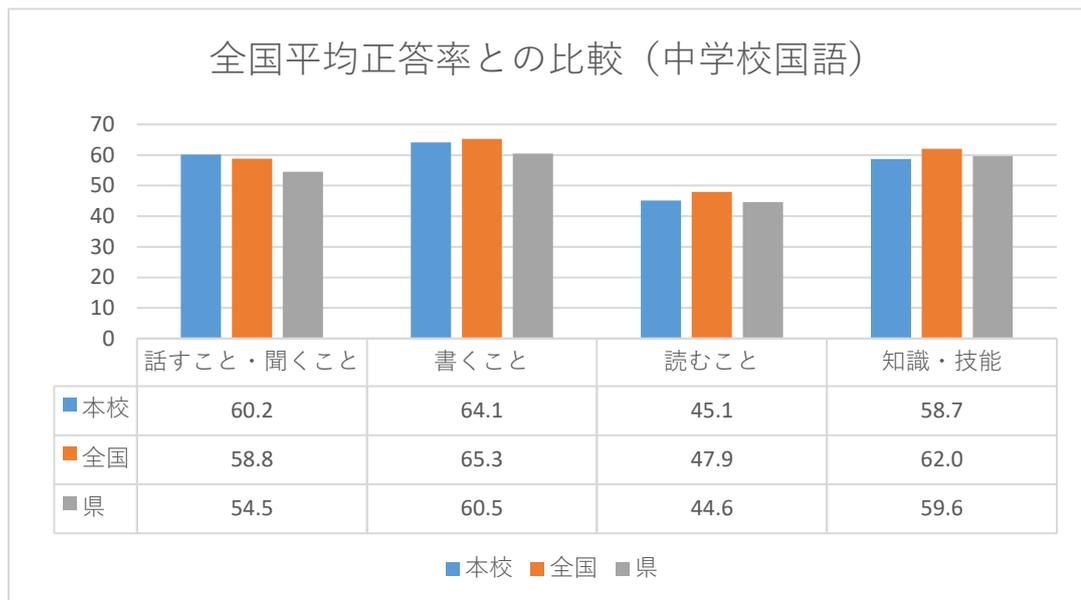
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査 (例)国語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

## ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象です。今年度の実施教科は、国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

「話すこと・聞くこと」は全国平均正答率を上回っていますが、「書くこと」「読むこと」「知識・技能」については全国平均正答率を下回っています。ただ、無解答率をみると、全ての問題で全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

**話すこと聞くこと** 全国平均を1.4ポイント上回っています。豊かな対話を位置づけた授業づくりを行い、話し合い活動や学び合い活動を実践する中で、目的に応じた応答を繰り返し行ってきたことが結果に結びついています。

**書くこと** 全国平均を1.2ポイント下回っています。表現の効果を考えて描写する活動や伝えたい事柄を適切に書く活動を授業の中で多く設定していきます。

**読むこと** 全国平均を2.8ポイント下回っています。目的に応じて適切に要約する問題においては、全国平均を上回っていました。今後は、様々な種類の文章の読解に取り組み、図と文章や段落と段落の関係性に着目して内容を理解する力を身に付けさせていきます。

**知識・技能** 全国平均を3.3ポイント下回っています。文脈に即して漢字を正しく書くことや言葉を適切に使うことについては、意味や用法を理解しながら身につけさせるように指導していきます。また、書写に関する知識・技能については、繰り返し確認しながら身に付けさせていきます。

#### (3) 学力向上のための取り組み

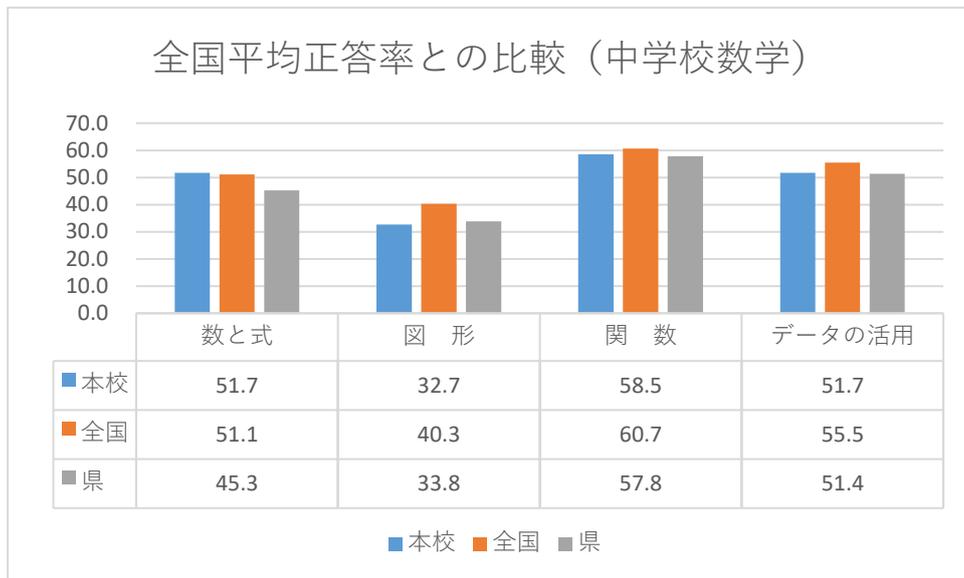
##### 【学校では】

- 生徒が主体的に学べるように、豊かな対話を位置づけた授業を行い、生徒同士が話し合いながら、自分の考えを広げたり深めたりしながら学んでいけるようにします。
- 日々の授業で力を付けていけるように、すべての授業で「振り返り」の時間を設定します。
- 一人一台端末や辞書を活用させ、多くの文章に読み慣れさせ、多くの言葉に触れさせることで、語彙力を高め、学力向上につなげていきます。

##### 【ご家庭では】

- 授業プリントやテストの答案など、間違ったところを復習することで、学力は大きく向上します。自学ノート等を活用し、その日の授業を振り返るようにすることで学力は定着します。その際、授業内容を尋ね、話題にさせていただくとより効果的な振り返りになります。
- 新聞や本、ニュース等から得た情報を共有し、話題にしてください。知らない言葉が出てきたときに、辞書や一人一台端末等を活用し、興味をもって調べる習慣が身につけば、語彙力が高まります。

## 2 数学



### (1) 結果

「数と式」の領域では、全国平均を、「図形」以外の領域では、すべて県平均を上回っています。課題として明らかとなった「図形」の領域では、特に、証明の問題に苦手意識があるようです。また、無解答率を見ると、ほぼすべての問題で全国平均より低くなっています。

### (2) 成果と課題

観点別にみると「知識・理解」は、県平均を上回っています。領域ごとにみると、「図形」以外は、県平均を上回っていましたが、「数と式」の「連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表すことができるかどうかをみる問題」や「関数」の「事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができるかどうかをみる問題」や「データの活用」の「複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる問題」や「図形」の「筋道を立てて考え、証明することができるかどうかをみる問題」では、正答率が低くなっており課題が見られます。

今後、授業では、自分の意見・解答を書き上げる時間を確保し、その意見を他者と共有する時間を大切にしていこうと、個々の説明する力の向上を図り、知識・技能の定着を図ります。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- お互いの考えを出し合い、認め合いながら、考えを整理したり、広げたり、深めたりする場面を設定し、少人数または学級全体における話し合う活動の充実を図ります。
- 単元ごとに、身につけたい力を提示し、見通しをもって学習に取り組むことができるようにします。また、振り返りを適切に行い学習内容の定着を図ります。
- 日々、個々のつまずきに応じた指導を行い、学力向上に努めます。

#### 【ご家庭では】

- 学校で使用しているワーク（数学の問題ノート）やプリント等の宿題の取り組み状況やテストの結果をご覧になって、学習内容を家庭内での話題にし、家庭学習につなげてください。教科書を使いながら、毎日コツコツ復習していくことをお勧めします。
- 日頃の生活の中でみられる数学の事象も数多くあるので、ご家庭で一緒に調べていくと生徒の学習意欲の向上につながると思います。
- 学習内容の理解を深めるために、同一問題や類似問題、さらには発展的な問題に取り組んでいくことも大切です。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

※「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」「どちらかと言えば当てはまらない」「当てはまらない」のうち「当てはまる」と回答した生徒の割合。

《生活習慣・自己肯定感・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	78.0%	79.1%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	38.0%	34.9%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	58.0%	55.3%
自分にはよいところがあると思いますか。	43.0%	40.4%
将来の夢や目標を持っていますか。	34.0%	36.1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	81.0%	68.6%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	85.0%	77.5%

朝食については全国平均を下回っていますが、規則正しい睡眠については全国平均を上回っています。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校で協力して、習慣化していきましょう。自己肯定感及び規範意識の項目については、肯定的な回答をした生徒が全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。	36.0%	28.2%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか（塾・家庭教師・インターネット活用の学習も含む）。 「3時間以上」	1.0%	9.2%
「2時間以上、3時間より少ない」	14.0%	22.5%
「1時間以上、2時間より少ない」	16.0%	32.6%
「30分以上、1時間より少ない」	27.0%	18.4%
「30分より少ない」	25.0%	10.4%
「全くしない」	17.0%	6.6%

家庭学習については、普段（月～金）及び休日の勉強時間は、全国平均を大きく下回っています。中には全く家庭学習をしていない生徒もいました。かなり個人差が見られるので、家庭学習の大切さを保護者や生徒に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、卒業後の進路選択を見据え、自分の目標に向かって、計画を立てて家庭学習を行う習慣の大切さについても指導していきます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

○学校では、日々の授業において、お互いの考えを出し合い、認め合いながら、考えを整理したり、広げたり、深めたりする場面を設定し、根底となる主体的に学習に取り組む態度を育成します。また、授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートするなどの「自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する時間」を大切にします。

##### 【ご家庭では】

- 学校便り・学年便り・授業プリント等をご覧になり、学校に関する会話をする中で、コミュニケーションを毎日とっていただきたいと思います。また、毎日決まった時間に家庭学習を行うように声かけをお願いします。
- SNS等の情報通信機器を使っている時間が長すぎる生徒も見られます。使い方については、ご家庭でしっかりお子様と話し合い、各家庭のルールを決めていただくようにお願いします。